

企業交流会実施報告



第32回企業交流会報告

事業部会/企業交流企画委員会

1. 概要

2022年1月21日（金）、第32回企業交流会を品質工学会主催でリモートにて開催した。今回は企業様を訪問する従来とは異なり、各企業様からご発表いただく形式での実施とした。

テーマは「要求仕様達成型から価値提案型への事業変革」とし、具体的には顕在化された顧客要求に対応するだけでなく、部品メーカーがセットメーカーに新たな価値を提供する、製品提供後に継続的に顧客に価値を提供する等、顧客への新たな価値提供に関する発表と討論を行った。

初めての形式だったので参加者が減少することを懸念したが、会員、非会員合わせて65名の参加があった。

まず、椿会長から「今日の交流会が、顧客に響き、顧客のうち返しすら期待できる『価値提案型経営』のGood Practicesを共有し、議論できる場となれば」との挨拶を皮切りに、会は開始された。

2. プログラム内容

2.1 特別講演 「日本一労働時間が短い“超ホワイト企業”は利益率業界一」

未来工業(株)社長 山田雅裕

創業者が立ち上げた劇団『未来座』の仲間を中心に会社運営を行っていた。創業は1965年、創業時の理念は、オリジナル製品を作る、下請けにならない、ということで、製品の差別化がキーワードである。「常に考える」を企業理念に掲げ、企業活動を行っている。その企業活動が各方面から認められ、

超ホワイト企業と評価されている。会社自身はそのようなことは思っていないが、外部から評価を受けている。

会社の活動は、

- ・報連相禁止
- ・成果主義は取らない
- ・全員正規社員
- ・制服の自由化
- ・効率重視、品質重視：完成度の高いもの
- ・提案制度の報償は現金

を基本に実行している。言葉だけを見ていると、効率重視、品質重視を除いては一般に企業が実施していることの対局を進んでいて、実に人に寄り添う企業活動になっている。劇団から生まれた企業なので、自ずと人間味に溢れた経営になっているかもしれないとの話があった。

2.2 基調講演 「新たなビジネスの創出を目指し、車載電装品の提案型ビジネスの構築と顧客満足の実現を！」

アルプスアルパイン(株) 元技術顧問 澤田謙次
1970年代に起こった激動のオイルショックは、アルプスアルパイン(株)(旧アルプス電気(株)、ALPSと省略する)にとって、民生用部品メーカーからの大きな変革を求められる時代の始まりであった。その中で自動車用車載電装品という新たな市場に参入するにあたり、自動車メーカーとユーザーの満足に根差した商品開発とビジネスの構築により、その後のALPS売上増に寄与することが出来た。その実現におけるビジネスプロセスの中で開発設計の立場で「顧客に満足頂ける商品開発と提案型ビジネス